

平成28年度

山形県認知症施策推進協議会
(医療部会)

平成28年11月11日(金)

目 次

1	情報交換	「道路交通法の一部改正に伴う高齢者の運転対策の強化について」	3
2	協 議	「歯科医師、薬剤師向け認知症対応力向上研修の内容・持ち方について」	5

【情報交換】

道路交通法の一部改正に伴う高齢者の
運転対策の強化について

(資料1のとおり)

【協 議】

歯科医師、薬剤師向け
認知症対応力向上研修の内容・
持ち方について

新オレンジプラン(平成27年1月)

(早期診断・早期対応のための体制整備)

かかりつけ機能に加えて地域の医療機関、認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等との日常的な連携機能を有する歯科医療機関や薬局も、認知症の早期発見における役割が期待される。歯科医師等による口腔機能の管理や薬剤師による服薬指導等を通じてこれらの専門職が高齢者と接する中で、認知症の疑いがある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理や服薬指導等を適切に行うことを推進する。このため、歯科医師や薬剤師の認知症対応力を向上させるための研修の在り方について検討した上で、関係団体の協力を得ながら研修を実施する。

山形県認知症施策推進行動計画(平成28年1月)

歯科医師・薬剤師の認知症対応力向上

▶新たな研修を実施(平成28年度:実施に向けた検討、平成29年度以降:実施)

歯科医師・薬剤師向け認知症対応力向上研修の概要(厚生労働省標準カリキュラム)

	歯科医師向け認知症対応力向上研修	薬剤師向け認知症対応力向上研修	
対象	対象：県内で勤務(開業を含む)する歯科医師 実施主体：県(関係団体等への委託が可能)	対象：県内で勤務(開業を含む)する薬剤師 実施主体：県(関係団体等への委託が可能)	
目的	認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた歯科治療・口腔管理を適切に行い、認知症の人への支援体制構築の担い手となること	認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた薬学的管理を適切に行い、認知症の人への支援体制構築の担い手となること	
標準的なカリキュラム	I 基本知識(30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症施策の現状 ・認知症の原因疾患の特徴と症例 ・画像診断やアセスメントの概要 ・認知症治療薬や薬効の概要 	
	II かかりつけ歯科医の役割(90分)	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ歯科医(歯科医療機関)の役割 ・歯科診療において注意すべき気づきのポイント ・認知症の人の歯科診療を円滑に進めるための視点 ・歯科診療所で起こるBPSDへの対応 ・治療計画と対応方法の立案 ・歯科医療機関の管理者の役割 	
	III 連携と制度(90分)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム、介護保険制度 ・サービス担当者会議でのかかりつけ歯科医の役割 ・ケアマネジャーとの連携 ・若年性認知症の現状と支援の制度 ・成年後見制度、高齢者虐待の現状 	
		I 基本知識(30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症施策の現状 ・薬局・薬剤師の役割 ・認知症の原因疾患の特徴と症例、軽度認知症がいの理解 ・観察のポイント(アセスメント)
		II 対応力(90分)	<ul style="list-style-type: none"> ①薬学的管理 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に使われる薬(効能・効果・副作用・作用機序) ・認知症治療薬の使用上の注意点 ・薬物以外の療法とケア ・服薬の継続管理のポイント ・認知症の人・家族への支援 ②気づき・連携 <ul style="list-style-type: none"> ・早期発見・早期対応や多職種連携の必要性と対応 ・カンファレンス等での薬局・薬剤師の役割 ・徴候、服薬状況からの気づき、医師へのフィードバック
		III 制度等(90分)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム、介護保険制度 ・医師やケアマネジャーが薬局・薬剤師に望むこと ・ケアパス、初期集中支援チーム、地域支援推進員等の仕組み ・若年性認知症の現状と支援の制度 ・成年後見制度、高齢者虐待の現状

(詳細は 資料2 のとおり)

(詳細は 資料3 のとおり)

論点

- 本県で研修を実施する際に、カリキュラムに追加すべき内容はあるか。
- 受講者をどのように確保していくか。
- 研修修了者をどのように活用していくべきか。